

☆ 1つの英文には、1つの動詞しか使えないから、2つ目の《動詞》を《動詞ではない形》にする。

方法① < to ~ > の形にする。 (いわゆる _____ 詞)

- (1) 名詞用法『 ~ _____ 』 (= _____ 詞 < ~ing > と書き換え可) [方法②(2)参照]
- (2) 副詞用法『 ~ _____ 』 … 感情を表す語(happy, sad など)がある文では『 ~ _____ 』
- (3) 形容詞用法『 ~ _____ , ~ _____ 』 … 名詞 + to ~ の形になる

方法② < ~ing > の形にする。

- (1) 『 ~ _____ 』 [現在分詞という] … 現在進行形、分詞の形容詞用法の文で使う。
- (2) 『 ~ _____ 』 [_____ 詞] (= 不定詞の名詞用法 < to ~ > と書き換え可)

方法③ 過去分詞 < ~ed など > の形にする。

訳し方→『 ~ _____ , ~ _____ 』 (どちらで訳すかは be 動詞、または文脈で判断する)

フラスアルファ < 不定詞 > と < 動名詞 > の使い分け

☆ 不定詞の名詞用法 < to ~ > と 動名詞 < ~ing > は、基本的には書き換えができる。

ただし、その文の動詞によってはどちらかしか使えないので注意しよう！

うしろに to ~ を使う動詞	うしろに ~ing を使う動詞	両方とも使える動詞
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing
_____ to ~	_____ ~ing	_____ { to ~ ~ing